

岩手県印刷工業組合

岩手の印刷

第80号／平成29年3月31日
発行所／岩手県印刷工業組合
〒020-0122
岩手県盛岡市みたけ5丁目17-10
TEL.019-641-4483
FAX.019-641-6103
E-mail kumiai@iwate-print.net
URL <http://www.iwate-print.net/>
発行人／斎藤 誠

vol. **80**
2017.3

(ホームページ上でも閲覧できます)

CONTENTS

新年交賀会	2
平成28年度	
下期東北地区印刷協議会報告	3
藤井治夫会長挨拶	3
臼田真人全印工連会長挨拶	3
分科会報告・協議事項	4
岩手県印刷工業組合	9
「創立60周年」記念式典	
トピックス	10



為内の一本桜(八幡平市)

平成29年 岩手県印刷工業組合新年交賀会

1月20日（金）花巻温泉「ホテル千秋閣」において、岩手県印刷工業組合の新年交賀会が開催されました。交賀会に先立って行われた全員協議会では、11月に開催された岩手県印刷工業組合創立60周年記念行事の報告と年度初めからの事業に関する報告がありました。その後に開催されたセミナーには30名の方が熱心に聴講されました。そして、セミナー終了後、参加者58名で親睦を深めた新年交賀会が開宴されました。

❖日 時／平成29年1月20日（金） 12:00～ ❖場 所／花巻温泉 「ホテル千秋閣」

❖日 程／ *常任理事会 11:30～12:00 <<3F 305>>
*昼 食 12:00～13:00 <<2F ローズダイニング>>
*全員協議会 13:10～14:30 <<3F オーキッド>>
(理事会)

議 題 1. DTP 教育技能検定試験について…………… (資料1)
2. 新規組合員加入促進について…………… (資料2)
3. その他
・全印工連共済制度について

報告事項 ①組合創立60周年記念式典報告…………… (資料3)
②今までの復興事業5カ年について…………… (資料4)
③ILC年賀ハガキについて…………… (資料5)
④各支部報告…………… (資料6)
⑤庶務事項…………… (資料7)

*セミナー 14:45～16:45 <<1F 瑞雲の間>>
セミナー名 「受注減の時代でも顧客を創る」
講 師 伊藤 直行氏 株式会社バリューアシストジャパン 代表
*新年交賀会 18:00～20:00 <<2F 亀祥の間>>



平成 28 年度 下期東北地区印刷協議会

◆開催日時

平成 29 年 2 月 15 日 (水) 13:00 ~

◆開催場所

仙台市青葉区本町「パレスへいあん」

◆参加者

東北六県役員・来賓・その他 78 名



1. 全体会議

藤井治夫 東北地区協会長挨拶

昨年 10 月に開催された「全日本印刷文化典ふくしま大会」では、主管の福島工組の佐久間理事長、坂本実行委員長をはじめ、組合一体となって推進され、成功裏に導かれましたことに厚く御礼を申し上げます。同時に、各県工組の多数の参加を頂き、大会の盛り上げにご尽力されたことに深く感謝申し上げます。

さて、電通社員の過労死から長時間労働問題がクローズアップされて来ました。政府は、残業上限を月 60 時間を提示し、その具現化に向けて働き方改革を推し進めています。

私たち印刷業は、納期のある受注形態で仕事をしており、社内のある部門や、特定の人にしわ寄せ傾向がある等、その解決に苦慮されていると思います。その意味から、業界として、会社として、社員の働き方改革、業務の見える化による全社的な見直しが喫緊の課題となっています。

本年 7 月 8 日～9 日には、第 14 回となる SOPTEC とくほくを開催します。昨年は、出展社数、小間数、来場者数とも過去最大となりました。皆様から機会ある毎にメーカー・ディーラー様にお声掛けをして頂き、例年にも増して盛大に行いたいと思いますので、更なるご協力をお

願いたします。

また、恒例のデザイングランプリ TOHOKU は、12 月に表彰式・入賞作品展示を行います。皆様の積極的に応募されることを期待しています。

臼田真人 全印工連会長挨拶

平素、全印工連に対して格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年 10 月の全日本印刷文化典ふくしま大会においては、主管の福島工組をはじめ東北地区各県工組のご協力により、参加者 710 名を得て盛大に開催することが出来ました。対外的にも全印工連の団結力の強さをアピールすることが出来たと感謝しております。

昨年は、4 月に熊本地震、8 月には北海道の度重なる風水害等々多くの自然災害が発生しました。

経済についても、私たち中小企業には、好転の実感がありませんでした。

こうした中で、5 月に全印工連新執行部が発足しました。経営革新マーケティング委員会では、8 年がかりで構想してきました事業継承支援事業がスタートしました。また、オリックスとの提携による中古車リース等の事業や、新 DTP 検定への取り組みなどが始まりました。


高品質サーマルCTP

MADIATH (MP-C720)



水現像CTPプレートセッター

VIOLET DIGIPLATE VDP-CF3070



宮城県仙台市宮城野区宮城野1-11-11 ダイヤミックビル4F
仙台支店 ☎022(296)3221

ダイヤミック株式会社



※写真はRICOH Pro C9110にオプションを装着したものです。

そこに宿るのは、リコーの情熱と誇りのすべて。

多品種・小ロット・短納期への対応はもちろん、新たな付加価値の提供や顧客へのワン・トゥ・ワンでの対応など印刷ビジネスに求められるニーズは多様化。ビジネスを支える生産財として、よりハイスペックなデジタル印刷機が求められています。リコーの技術を結集したフラッグシップモデル「RICOH Pro C9110/C9100」。この一台が、お客様のビジネスを成功へと導きます。

RICOH Pro C9110/C9100

産業ソリューション事業本部 東北グループ 仙台市青葉区五橋1-5-3 TEL:022-726-3333
リコージャパン株式会社 岩手支社 岩手県盛岡市本宮3-36-45 TEL:019-631-2211

官公需対策への取り組みでは、知的財産権の適切な処理に関して、経産省からコンテンツ産業強化支援事業を受託し、その報告書を提出しました。今後、知的財産権の適切な処理等についての何らかの国の施策がなされるものと期待しています。

さて、全印工連の様々な事業について、組合員の皆様にしっかりと伝えていきたい。そのためには、全印工連、地区協議会、各県工組との連携を強め、情報の共有を深める必要があります。これにより、組合事業のメリットを伝えていきたいと思っています。

特に、地区協分科会の改善をすすめたい。従来は報告という一方通行の傾向が強かった。お願いすること、意見していただくこと、協議していただくことを明確にした分科会運営に努めたい。

今年は、志あふれる印刷産業へ、期待される価値を求めてをテーマに、各種事業に邁進していく方針です。皆々様と飛躍の年とするよう努めて参ります。

II. 分科会

理事長会

1. 本年7月7日(金)～8日(土)、仙台卸商センター「サンフェスタ」で開催の「第14回 SOPTEC とうほく2017」への出展会社募集に関して各県工組に協力を求め組合員が取引等ある関連業者へ、機会をとらえて出展の働きかけをお願いしたい。
2. 印刷人ステップアップ研修会が、4月11日(火)、宮城県印刷会館で行われます。受講対象は、平成29年度新入社員を含む若手社員、中途入社社員等です。各県工組事務局を通して、既にご案内していますが、お申込みは宮城工組事務局までお願いいたします。
3. 平成29年度上期東北地区印刷協議会は、山形工組の主管で、6月21日(水)～22日(木)、上山温泉「古窯」にて開催します。時間割等の詳細は追ってご案内しますので、多数のご参加をお願いいたします。なお、22日(木)には、親善ゴルフ大会を企画しています。
4. 今年で第18回となるデザインランプリ TOHOKU2017は、4月に作品募集案内パンフを組合員、デザイン会社、大学、専門学校高校等に送付する予定です。一般部門の応募作品数は近年低調であり、多くの組合員会社からの応募を期待しています。各県工組からのPRをお願いします。表彰式は、12月8日(金)仙台市の江陽ランドホテル、入賞作品展示はせんだいメディアテークで12月8日(金)～10日(日)に実施します。公開審査は11月中旬を予定、例年通り審査風景のネット配信を行います。
5. 平成28年度全印工連各種調査については、工組経由の「組合員台帳調査」「環境労務調査」「ダイバーシティ調査」の回収率は全国水準を大きく上回っているものの、全印工連から組合員あて直接メール配信による「経営動向実態調査」は著しく低い。このメール配信・回

答方式は調査費用や事務負担軽減という点では合理性があると言えますが、全印工連メンバーの経営実態を数値等で把握可能な重要な資料となるものであり、回収率が低ければ統計的資料価値に問題があります。(今後、直接メール配信による調査の回収率向上の方策について深く検討してみる必要があるとの意見で一致しました。)

6. 全日本印刷産業政治連盟の会員数は、平成26年度121、平成27年度140、平成29年2月現在170と微増はしていますが、会員数1名～2名の工組が多い。政治連盟の事業内容の充実化を図ることを期待すると同時に、会員数増強も全印工連として働きかけて行くよう希望します。
7. 上記以外として、事業承継・M&A問題、各地域の景況等について情報交換がなされました。

経営革新・マーケティング委員会

大風 亨委員長(山形県)

【依頼事項】

1. 事業承継支援センターの開設と事業承継セミナーの開催

現在、帝国データバンクによると日本の一般企業代表者の平均年齢が60歳を超え、そしてその6割の会社で後継者が決まっていないという統計がある。印刷業界でもその傾向があり、早急に親族内・親族外継承を含めた対応が迫られている。そこで、全印工連では、事業承継支援センターを平成29年3月より開設することになった。また、東北地区としては事業承継センターを活用する前に、まずはどのような形で事業承継をするか、そして自社株の評価がいくらで、その株をどのようにして親族・親族外へ継承するか等についてのセミナーを開催します。

◆日時/平成29年7月7日

◆場所/仙台卸商センター『サンフェスタ』

◆セミナー/15:45～17:30

◆意見交換会/17:30～ ◆参加費/無料

となっている。10年後の世代交代向け、大切な第一歩のセミナーになると思われます。多くの皆様からのご参加をお待ちしております。

2. 共創ネットワーク通信の活用(機能強化)

共創ネットワーク構築事業では、28回49社分のメールマガジンを発行している。今期は、メルマガのカラー化と検索機能の強化を行い、より見やすく使いやすいものにしていくので、ご登録をよろしく願いたい。

3. 「ソリューション・プロバイダーへのステップアップガイド」セミナーの開催

ステップアップガイドセミナーは各県で開催されている。セミナーを契機に様々な取り組みを始めた企業も多数あり、大変有意義なセミナーになっている。

【協議事項】

1. 「ソリューション・プロバイダーへのステップアップガイド」

の活用方法・事例研究

ステップアップガイドを読むだけでも新しい気づきがあるが、セミナーを受講した方がより効果的である。セミナーを受講することで、いま自社が出来ていること、出来ていないこと、出来ているようで出来ていないことがはっきりしてくる。また、自分たちの思い込みを取り除いたり、一度やってみたことをもう一度立て直す機会にもなったりして大変有意義である。

今の若い営業の人たちは、お客様満足イコール低価格という図式から離れられず、セミナーを受講し付加価値のある仕事をしたものの、その付加価値について十分な請求が出来ていない場合も多々あるようだ。これからはセミナーを受講し、実践された事例とその売上金額についての報告等があれば良いと思う。

2. 共創ネットワーク通信の登録拡大に向けた施策について

28回49社分のメールマガジンを発行しているが、効果が分からない。また、登録した人が経営者なのか発注担当者なのか分からないし、検索しても適切なものがヒットしないので使いづらい。共創という名前が付いているので、今後、印刷会社が共に繁栄できるものにしてもらいたい。

【報告事項】

各種セミナーは東京開催がほとんどになるが、大変充実した内容ゆえ、是非ご参加くださるよう、よろしく願います。

経営革新マーケティング委員会の最重要事業である事業承継支援事業は、これから会員の皆さんが、必ず直面する問題をより良く解決できるものと考えている。まずは、7月7日仙台で開催の事業承継セミナーを受講いただき、早めのご準備をいただければ幸いです。

ソーシャルビジネス委員会

五嶋建二委員長（秋田県）

【報告事項】

CSR認定企業は、現在全国で106社の企業が認定をいただいているが、東北では6社にとどまっている。

2月1日からは第17期ワンスター認定の募集が開始された。この第17期ワンスター認定は、本年6月の認定予定で4月末まで応募申込みの受付を行っている。全印工連CSR認定制度は、今後も継続して年4回の新規募集を行い、ワンスター認定及びツースター認定の普及拡大に努め、本年6月には最上位認定のスリースター認定を開始するなど積極的にCSRを実践する企業の支援をする。

このほか、CSR推進委員会では、CSRマガジン「Shin」を年3回発行しており、毎号CSRを経営戦略として取り組む企業を紹介している。全印工連ホームページでは、過去のバックナンバーのPDF版を掲載してダウンロードできるようにしていただいているのでご利用ください。

【意見情報交換】

※ 岩手県工組

◆地域及び社会への貢献

①古紙回収について

・平成20年から盛岡支部で始めた古紙回収事業を、東日本大震災をきっかけに全組合員に広め取り組んでいる。

白物・色物・新聞紙・段ボール・雑誌等に分けたものを古紙回収業者に引き取ってもらうと、一回につき3～4万円の金額になる。それを積み立て、年末には岩手県緑化推進委員会に10万円の寄付をしている。寄付金は、植林事業・自治会や子供会の花の苗の資金として使われる。

また、毎年行われる盛岡市の植樹祭には、組合員の事業所からたくさん参加している。その植樹祭の苗にも古紙回収の寄付金は使われている。

②ILC（国際リニアコライダー）

・岩手県では、東北の産・学・官と連携しILCの東北誘致に取り組んでいる。

・ILC推進協議会から講師を招き、ILCについての勉強会を行った。

年賀はがきに広告を載せて多くの皆さんにPRすることを目的に、ILC推進協議会と岩手県に働きかけた。震災からの真の復興のきっかけになる事業と期待している。

※ 宮城県工組

◆安全・安心な職場造り

・電通社員の過労死による労災認定など、過重労働による諸問題が全国的に発生している。宮城県工組では、従来より労働安全衛生問題等に積極的に取り組んできたが、さらに宮城労働局による「過重労働による健康障害防止」セミナーを開催、研修終了後には「受講修了証」を渡した。

教育・研修委員会

橋浦隆一委員長（宮城県）

【依頼事項】

1. 次年度の技能検定製版職種DTP作業実施への普及・啓発

今年度の技能検定製版職種DTP作業には18工組191名から受験申請があった。厚生労働省によると、来年度の受験申請者数が100名を割ってしまうと、廃止される可能性もある。今年度実施した工組には来年度以降も引続き実施を、今年度実施されなかった工組についても来年度からの実施の検討をお願いしたい。

【協議事項】

1. 技能検定製版職種DTP作業の受検者増に向けた取り組みについて

（意見・情報交換）

※青森工組では、1月28日と2月12日に実技試験を行い、受検者は1級4名、2級1名であった。

※岩手工組では、1月22日に産業技術短期大学校にて実技試験を行った。受検者は、1級7名、2級2名であった。

- *山形工組では、継続的に取り組んでいるため、検定をよく理解している検定員が存在する。
- *福島工組では、福島学院大学の駅前キャンパスを使用し、2級6名が受検した。
- *秋田工組は、今後のアンケートにより受検者が集まれば実施したい。
- *宮城工組も、アンケートを行い受検者を募りたい。
- *今回実施の工組については、引き続き取り組んでいきたいとの意向である。

《全印工連への要望》

2. 印刷営業講座のカリキュラム改訂について

全印工連では、制度教育事業部会を設置し、印刷営業講座および印刷営業士認定試験の見直しを行っている。今年度は㈱バリューマシーンインターナショナル取締役副社長の宮本泰夫（みやもとやすお）氏に講師を依頼し、昨年度作成した新講座カリキュラム 21 時間分のうち、見積積算 5 時間を除く 16 時間分について、新カリキュラムに基づいて講座の詳細な内容を組み立てている。「見積積算概説・見積計算演習」については、現行の講師陣により、デジタル印刷の見積計算を加える一方、現行の講座のように各印刷物の計算演習ではなく、見積りの体系・概念の理解に重点を置く内容で見直しを進めている。

《意見交換・全印工連への要望・質問》

- *新しい営業士とこれまでの営業士は同じ資格なのか？カリキュラムがこれほど変わるなら、既存の資格保持者にも再度受講させたほうが良いのでは？（宮城）
- *前の意見に関連して、「営業士」のイメージが古臭いものになっているので、サブタイトルなり既存の営業士と区別できないか？（多数意見）
- *実技の内容は、結局見積もりだけなのか？（岩手）

3. 新教育システム（遠隔システム）の利活用について

新教育システム（遠隔システム）は、資料 5-3 のように組合員の事業所や自宅で視聴可能なアーカイブ方式での試験運用を始める。出来るだけ多くの方に視聴しやすい方法で配信したいと考えているので、配信する動画時間の目安など、動画配信にあたってのご意見・ご要望があれば伺いたい。また、全印工連から各工組に配信してほしいセミナー、工組から全国に発信したいセミナーなどがあればご提案いただきたい。

【報告事項】

1. 技能検定製版職種 DTP 作業の実施状況

技能検定製版職種 DTP 作業は資料 5-1 のとおり 18 都道府県にて実施され、191 名から受検申請があった。実技試験は 12 月 1 日（木）から 2 月 12 日（日）の期間中に資料のように実施され、学科試験は全国統一で 2 月 5 日（日）に実施された。合格発表は 3 月 10 日（金）である。

2. 平成 28 年度印刷営業講座・管理印刷営業講座および同認定試験の実施

先の説明のとおり、印刷営業講座・印刷営業士認定

試験について見直しを進めている。

【全印工連への依頼事項】

- *制度教育の遠隔システムについては、東北地域は切実な問題である。だいぶ前から議論されている問題であり、早期の実現をお願いしたい。

環境・労務委員会

澤田義治委員長（青森県）

【依頼事項】

1. 環境マネジメントシステム認証・認定

- (1) GP（グリーンプリンティング）認定制度
- (2) 環境推進工場登録制度
- (3) 環境マネジメントシステム（ISO14001 取得支援事業）

全印工連では、上記の3つの環境認証制度を推進している。

一つが、日本印刷産業連合会の運営している、環境に配慮した印刷工場を認定するグリーンプリンティング工場認定制度（GP 工場認定制度）である。現在、印刷業全体で 368 工場、そのうち全印工連は 55.4% にあたる 204 工場が認定されている。もう一つが、GP 認定の取得が難しい企業でも比較的取り組みやすい登録制度として東京工組が始めた「環境推進工場登録制度」である。こちらは平成 26 年度から全国展開を開始している。取得には工組単位での講習会開催が必要となるが、東京工組主催で年 3 回開催している講習会には、東京工組以外の組合員の方も参加可能。ちなみに昨年 10 月には熊本工組が講習会を開催し 5 社認定され、現在は広島工組が準備を進めている。

また、全印工連では ISO14001 取得支援事業として、インターネットを利用した環境マネジメントシステムを運営している。マニュアルや規定の作成・保存、ISO 審査機関による一部文書審査をインターネット上で行うことによる、時間・コストの削減が可能となる。資料請求などのについては、全印工連事務局にお問い合わせいただきたい。

2. オフセット印刷工場用 VOC 警報機の販売

有機溶剤による健康被害から社員を守るために日本印刷産業連合会と新コスモス電機が共同で開発した本警報器は、まだ認知度の低いのが現状のようだ。印刷業が健康を害する職場ではないと証明し、リスクアセスメントを適切に実施するために、VOC 警報器は必要不可欠である。まずは購入して設置をお願いしたい。自分の工場は大丈夫だと思っている会社でも、調べてみると問題を抱えている場合もあるので、洗浄時に常時警報音が鳴るようであれば、危険信号と思われる。

以上の依頼事項を説明した。

【協議事項】

1. 環境マネジメントシステム認証・認定の周知・啓発について
GP 取得企業の委員からは、業績につながっているかど

うかは分からないが、ゴミの分別やリサイクルとか社員の環境に対する意識が変わったのは大きい。環境推進工場については、この制度に取り組み認定されれば、次の GP は自力で目指せるのでは？と推奨する意見があった。

ISO14001 のおかげで、取得後は社員意識も変わり、社内の環境に対する運用も良くなった。ただ、もう資格がなくても環境に対するパフォーマンスは継続的にできるといことで、資格を放棄した会社の委員が複数いた。環境省等国の機関では平成 31 年度より GP が優遇されるらしいので、環境推進工場についてもお願いしていく旨をお知らせしておいた。いずれにしても、GP・環境推進工場・ISO14001 の取得は、そういう優遇面にもつながるので取得に努めるよう周知・啓発した。

2. オフセット印刷工場用 VOC 警報器の普及拡大について

別添チラシと別添冊子を参照し、改めて説明した。

委員の中で実際購入されているのは一人だけだったが、やはり警報音は鳴るそうで、換気とかで対処しているとのことであった。

この警報器をつけることにより自社の環境状況を把握することができ、従業員の健康を守ることにつながる。2 年という交換期間があるが、まずは購入して設置して下さるようお願いした。

3. 産業廃棄物の適切な処理、三六協定の締結についての周知・啓発方法について

資料に掲載されている「環境労務アンケート集計結果」の中に、違法行為に罰則があることを確認した。ただそういうことになれば、それだけでは済まないかも知れない。例えば、SNS 等で風評被害的なことを載せられ社会からのバッシング等を受けて会社そのものが揺らぐことになるので、不適正処理は絶対行わないようお願いした。

また、中小印刷事業所では立地条件や排出量等から産業廃棄物業者が回収に行けないなどの問題が生じた場合には、東京工組で確立している「廃紙/インキ缶・残肉・廃液の共同一括委託処理システム」というシステムもあるので参考にしていただきたい。詳細は東印工組ホームページをご覧くださいと示しておいた。

三六協定については、電通事件が起きてから監督署も神経質になっているので、締結されていない企業は、労使間でしっかり協定を結んでおくことをお願いした。そして、労務について 10 名以上規模の企業で就業規則を作成しているか、50 名以上規模の企業でストレスチェックを実施しているかなど、地元の組合員に周知・啓発をお願いした。委員の中にはいなかった。

【報告事項】

1. 環境および労働関係情報の収集・提供

(1) 平成 29 年度グリーン購入法・調達判断基準等

製本加工したカレンダーで綴じ部と本紙が分離可能なものについて、本紙の用紙ごとにリサイクル適正が表示されているか、が判断基準として追加された。リサイクル適正マークの使用方法については、管理団体の日本印刷産業連合会へ問い合わせるようお願いした。

(2) 育児・介護休業法の改正

今回の改正は、事業場の人数規模によらず、すべての会社が対象となる。①育児介護休業・子の看護休暇・介護休暇の要件緩和、②短時間勤務制度の制定、③賃金・退職金・賞与の算定について等、就業規則の改正と労使協定の締結が必要なことを周知した。また、改正に関する事項について就業規則に記載した後は、労働基準監督署へ届出の義務があることを伝える(労使協定については、提出義務はなし)。細かい内容については、都道府県労働局の窓口や社会保険労務士への相談、セミナーへの参加等に対応してくれるようお願いした。

2. 平成 28 年度地域別最低賃金の改定

平成 28 年度地域別最低賃金の全国平均は 823 円と、昨年を 18 円上回っている。地域別最低賃金を下回る賃金を支払った場合には、最低賃金法違反となるので注意するよう周知した。

官公需対策委員会

木村恵也委員長(岩手県)

【報告事項】

平成 29 年 2 月 9 日に、東京印刷会館に於いて官公需対策全国協議会が開催された。協議会に先立ち、経済産業省委託業務「平成 28 年度コンテンツ産業強化対策支援事業」(中小印刷産業の知的活用に関する調査事業)の報告がなされた。官公需契約数の多い中小印刷会社においては、官公需契約における知的財産権の整理や、その取り扱いに通じた人材の育成が急がれることから、

1. 印刷等の請負契約時に生じる知的財産権の取り扱い等について調査・分析をする
2. 適切な契約のあり方の整理
3. 中小印刷会社に対しての情報提供

以上の 3 つを中心に調査がなされた。

平成 28 年版の中小企業庁の官公需の手引に知的財産権の取り扱いが明記されました。「国等は、物件及び役務の発注に当たっては、発注内容に著作権等の知的財産権が含まれる場合には、当該知的財産権の取り扱いについて書面をもって明確にするよう努めるものとする。」

最近、印刷物のデータを求められることが度々あるが、著作権等の譲渡について、有償か無償か、また予め契約書で定められているか等々、いま私たちが抱えている問題を整理することが急務であると思った。

報告会に引き続き、第 4 回官公需対策全国協議会が開催された。テーマは、

- ・「最低制限価格制度」の推進・導入状況について
- ・「業者評価制度」の導入について

最低制限価格制度の推進・導入についての取り組み事例が、福岡県工組から発表され、続いて、テーブルディスカッション、テーブル発表(5 テーブル)、質疑応答となった。

- ・地産地消、設備の有無で応札制限を導入した事例
- ・設備以外の資格や条件で応札制限を導入した事例

岩手の印刷

- ・今後の最低制限価格制度導入の新たな理由
 - ・入札の参加資格として、各種検定・認定・CSR・設備・実績等の条件を付すこと
- 等々、意見交流が行われた。

【意見情報交換】

東北では、最低制限価格制度導入県は青森県・山形県・秋田県の3県、低入札価格調査制度導入県は宮城県のみで、福島県は請願書を出しているが、まだ実現していない。市レベルでは青森市、いわき市の2市が最低制限価格が導入されている。各県・市とも、導入されている契約金額に大きな差があり、また、最低制限価格も様々である。最低制限価格制度が導入されている県・市等でも、制度が有効に機能していない。導入されている契約金額の引き下げと最低制限価格設定の引き下げが必要である。

組織・共済委員会

立花志明委員長（福島県）

【依頼事項】

1. 平成 29 年度共済加入促進キャンペーンの推進
共済3制度への加入促進にご協力いただきますよう、よろしく願いいたします。
2. 生命共済制度の更新処理
生命共済制度の更新処理に関しては例年どおりで、制度内容の変更はありません。

【協議事項】

1. 平成 29 年度共済加入促進キャンペーン地区毎の重点工組の選定について
平成 29 年度重点工組を決めるにあたり、重点工組（案）を提案されました。
平成 29 年度重点工組（案）
東北地区：秋田県・山形県
協議の結果、提案どおり、秋田県と山形県となりました。
2. 共済加入促進キャンペーンの展開について
（意見・情報交換）
キャンペーンは加入増加に向け、重点工組を中心に47都道府県工組で募集活動を展開していくことになっていますので、出席者の皆様のキャンペーン推進状況などについて意見交換を行いました。
3. 組合員加入の促進について（意見・情報交換）
資料は平成 29 年1月1日現在の全国組合員異動状況と、直近 10 年間の4月1日現在の全国組合員年時次別推移です。組合員の脱退を防止するためにはどのような方策をとるのが有効なのかなど、意見・情報交換しました。

【報告事項】

1. 各共済制度の加入状況
各制度の運営状況は、全印工連が把握している直近の数値です。全国の加入状況と各地区内の状況を報告しました。
「生命共済制度」（1月分）
全国レベルでの現在の契約額は、掛金の収納ベースの数字となりますが、1月現在で加入事業所数で1,471

社、加入者数で16,857人、加入契約額は31億2,100万円となっています。

組合の手数料収入（工組交付金）は、契約額の0.6円（万円当たり）で計算されるため、今まで（1月分まで）、18,774,510円（31,290,850万円×0.6円）が交付されています。

「設備共済制度」（1月分）

全国の加入状況は、382社の組合員に加入いただいています。そのうちオプションコースの地震災害補償コースには41社の加入をいただいています。

組合の手数料収入（工組交付金）は、年間掛金累計額を基に例年の基準に基づいて計算され、平成28年度決算終了後各工組へ交付される予定です。

「医療・がん共済」（1月1日現在）

全国の加入状況は、医療補償には205名、がん補償には27名の加入をいただいています。

組合の手数料収入（工組交付金）は、掛金に含まれる運営事務費（年間1,000円）を全印工連と折半となっていて、平成28年度決算終了後各工組へ交付される予定です。

「災害補償共済制度」（11月1日現在）

全国の加入状況は「労災補償コース」では、IタイプとIIタイプ合わせて111社、3,893名の方の加入があり、また「傷害補償コース」では、補償金額により3タイプありますが、その合計で17社のご加入をいただいています。組合の手数料収入（工組交付金）は、掛金額の3%（含む消費税）を全印工連と折半するため現時点での加入状況で計算すると、88,504円が平成28年度決算終了後各工組へ交付される予定です。

「経営者退職功労金制度」（1月分）

全国の加入状況は、掛金の収納ベースの数字となりますが、71社、139名、契約口数は372口となっています。

2. 組合員台帳調査の回収結果

昨年調査が実施された平成28年度組合員台帳調査について、全国の提出状況と各地区内の提出状況について報告しました。

各県100%! 東北地区100%達成、ありがとうございます。

FUJIFILM
Value from Innovation

FUJIFILM SUPERIA

体感してください。印刷現場の歴然とした変革効果を。

オフ翰・枚葉の「損紙削減・乾燥促進」印刷

Eco&Fast Printing
FUJIFILM環境対応CTPプレート+湿し水による新変革

FFGS 環境ソリューション
FFGS パルーアーフキネサゴン
FFGS i-ColorQG

FFGSは、印刷会社の課題解決をさまざまな角度から 印刷工程の改善活動をきめ細かくサポート
お手伝いいたします。

Eco&Fast Printingとは…
コストダウン（損紙・インキ削減）、印刷機稼働率アップ、品質安定化を実現する印刷工程改善サポート活動です。

富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社 ホームページ <http://fjgs.fujifilm.co.jp>
東北支店 〒983-0869 仙台市宮城野区鉄砲町西1番地14号 富士フィルム仙台ビル 022(282)8511

岩手県印刷工業組合「創立 60 周年」記念式典



日時／平成 28 年 11 月 10 日

会場／盛岡グランドホテル

- 記念講演会 13:00 ～ 14:10 「鳳冠の間」
- 記念式典 14:30 ～ 15:50 「鳳冠の間」
- 記念祝賀会 16:00 ～ 18:00 「鳳舞の間」

昭和 31 年 11 月 17 日に創立された岩手県印刷工業調整組合を前身として誕生し、昭和 33 年 8 月に岩手県印刷工業組合へと改組され、60 周年を迎えた当組合の記念行事が平成 28 年 11 月 10 日に行われました。

記念の行事はまず、全日本印刷工業組合連合会会長・白田真人氏による記念講演会から始まり、次に記念式典が行われました。式典は当組合の副理事長・間瀬浩之氏の開会の言葉から始まり、国歌斉唱、15 名の物故組合員追悼黙祷の後、常務理事・新沼興隆氏のリードで印刷産業人綱領が唱和されました。そして理事長・斎藤誠氏による式辞と続き、次に盛岡市長・谷藤裕明様、全日本印刷工業組合連合会会長・白田真人様、東北地区印刷協議会会長・藤井治夫様の御三方より御祝辞をいただきました。次に組合功労者顕彰（元理事長・吉田幸一氏と前理事長・田口純二氏）、組合功労者表彰（元副理事長・津田徳武氏と前常務理事・西野代良氏）、勤続 50 年の澤田孝昭氏（河北印刷株）を筆頭に 36 名の永年勤続優良社員表彰があり、受賞者を代表して吉田幸一氏が謝辞を述べられました。その後、副理事長・鈴木敦氏による閉会

の言葉で式典が終了しました。

午後 4 時から開かれた祝賀会では、理事長・斎藤誠氏と気仙支部長・新沼興隆氏による挨拶後、菅原正行様（日本グラフィックサービス工業会岩手県支部長）の御祝辞をいただきました。そして、菅原和弘様（岩手県中小企業団体中央会専務理事）の乾杯の御発声後、バンド「蝦夷」（ギターボーカルは株文協印刷代表取締役社長・荒川和行氏、ウッドベースは同社常務取締役・荒川真行氏）による往年のロカビリー音楽のアトラクションで祝宴は大いに盛り上がりました。



トピックス

盛岡市民植樹祭に5回目の参加！

平成 28 年 10 月 16 日 (日)

雲一つない秋晴れの中、盛岡市玉山日戸にあるサクラパーク姫神で、午前 10 時から市民植樹祭が行われました。盛岡支部から 4 社、18 名が参加して植樹に汗を流してきました。植樹の後は、きれいな岩手山を眺めながら昼食。美味しい豚汁をいただいできました。組合員さんにご協力をいただいている古紙回収の資金が、この事業にも役立っています。



第 17・18・19 回となった 地域貢献活動「古紙回収」実施

平成 28 年 4 月 20 日 (水)・6 月 22 日 (水)・10 月 19 日 (水)

東日本大震災復興のためのグループ補助事業の一つとして、恒例となった古紙回収。今年度も昨年同様 3 回に回数を増やして実施しました。皆様のご協力のおかげで、今回も収益金 10 万円を岩手県緑化推進委員会へ「緑化事業の一部に」と寄付をいたしました。組合員皆様のご協力、ありがとうございました。



「SOPTEC とうほく 2016」 セミナー&見学

平成 28 年 7 月 2 日 (土)

宮城県仙台市産業見本市会館「サンフェスタ」で開催された「SOPTEC とうほく 2016」に貸切バスをチャーターして参加してきました。



新 D T P 技能検定 (D T P 作業) 試験実施 1 級 1 名、2 級 2 名が合格！

実技試験 平成 29 年 1 月 22 日 (日)
学科試験 平成 29 年 2 月 5 日 (日)

実技より合格率が低いとされる D T P 技能検定の学科試験ですが、その試験に合格するための対策セミナーが平成 29 年 1 月 15 日 (日) 13:30 から 3 時間、盛岡の川口印刷工業の会議室で開催され、30 名が受講しました。1 月 22 日の実技試験と 2 月 5 日の学科試験には 1 級 2 名、2 級 7 名の計 9 名が試験に臨みました。

結果、3 月 10 日に合格発表があり、1 級に 1 名、2 級に 2 名 (総合合格者 3 名)、2 級 (科目別合格者 (学科のみ)) に 5 名が見事合格しました。

おめでとうございます！来年も検定試験を実施する予定です。
皆様のたくさんのご応募をお待ちしております。

検定員としてご協力頂きました三社の皆様ありがとうございました。



対策セミナーの様子

新日本紙工株式会社

本社工場 〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町6-13

TEL 022-288-5381(代)

盛岡工場 〒020-0811 盛岡市川目町23 - 8 (盛岡中央工業団地)

TEL 019-625-1795(代)

編集後記

「雁風呂」という有名な落語に次のような場面が出てきます。

…渡り鳥が、波間で足を休めるために口に咥えた小枝を函館の松の根元に落とし、帰るときまた咥えて飛び立ちます。しかし大量の小枝が残り、それを見た地元の人が「今年もこれだけの枝が残ったか」と死んだ鳥を憐れみ、村を通る旅びとを泊める際、その枝で風呂を沸かしてあげるのです…

今年も白鳥の北帰行が始まりました。彼らの無事を弥生の青空に願う今日この頃です。

《訃報》

心よりご冥福をお祈りします

平成 29 年 2 月 5 日

有限会社第一印刷 代表取締役

宮崎利長様 享年 70 歳

Q. クイズコーナー

「すべての国民は姓を称すること」と定められたのは明治 8 年のこと。国民皆名字の歴史は意外にも浅かったのです。ところで、今回は岩手県内の名字（苗字）ベスト 3 の問題です。多い順に正しいのは、A. B. C. のうち、どれでしょうか。

- A. 佐々木、佐藤、高橋 B. 高橋、佐々木、佐藤
C. 佐藤、佐々木、高橋

- 送り先 / 答え、会社名、氏名をご記入のうえ当組合事務所（当紙表紙に記載）まで FAX でご回答下さい。
- 応募締切 / 平成 29 年 5 月 8 日（月）（当日消印有効）
- 当選発表 / 景品の発送後、ご本人の承諾を得て次号に掲載
- 個人情報は商品の発送のみに利用します。



今回の景品

前回の答え

前回の答えは 「原 敬」 でした。

応募数 9 通の中から、組合役員による厳正なる抽選の結果、(株)大昭堂印刷所の豊島崇行さんが当選されました。おめでとうございます。

今回もすてきな賞品を準備しております。たくさんのお応募をお待ちしています。



TOKIWA

豊かな紙 確かなサービス


弊社はFSC® 認証紙を販売し
世界のよりよい森林管理を支援します



責任ある森林管理のマーク

常盤洋紙株式会社

〒020-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南1丁目8-19
TEL (019) 637-2011 FAX (019) 637-2014
本社/仙台 営業所/塩釜・福島・山形・水沢
URL <http://www.tokiwa-pap.co.jp>
TOKIWA PAPER CO.,LTD.




RMGT

ともに、世界へ彩りを。

「ともに、世界へ彩りを。」というコーポレートメッセージには
お客様はもとより、印刷業界に携わる全ての皆様と信頼関係を築き、
ともに、彩りのある社会づくりに貢献したいという想いが込められています。


RMGT 3

A3縦通し




RMGT 5

菊四裁寸延び




RMGT 6

菊半裁寸延び




RMGT 7

B2判




RMGT 9

A全判




RMGT 10

菊全判



RMGT 11

四六全判



リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社
東日本支社 仙台支店 〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町4-2-38 TEL 022-237-6210 <http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

 Giving Shape to Ideas

KONICA MINOLTA

*写真はC1070にオプションを装着したものです。

デジタル印刷を
最大化する、
マルチロールプレス

フルカラーデジタル印刷システム
bizhub PRESS
C1070/C1070P

平成28年4月1日からコニカミノルタジャパン株式会社に社名が変わります。

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社 東北支店 PP推進チーム
〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町1丁目2-25 仙台NSビル2F TEL.022-722-2265



株式会社 インキ 仙台小森

お客様の信頼をかたちにする
大正創業は信頼の証！

〒984-0015 仙台市若林区郡町 2-5-8 Tel.(022)232-1591 Fax.(022)239-5874 Url.http://www.s-komorink.co.jp/

TOYOINKGROUP

Visible Science for Life

私たち東洋インキグループは、
『目に見えるサイエンス』で皆様の生活に貢献いたします。

www.toyoinkgroup.com

東洋インキ東北株式会社
〒981-3206 宮城県仙台市泉区明通3丁目27 Tel: 022-378-5131

～お客様を大切にする心
物を大切にする心つくり～

TBP 時田製本印刷(株)

〒038-0059
青森市油川千刈 1 1 5 - 9
TEL 017-763-3300 FAX 017-763-3303

高品位フルカラーデジタル印刷機

 **KOMORI**
Kando: Beyond Expectations

フルカラーデジタルプリンティングシステム
Impremia C100

Impremia C100

D i g i t a l O n D e m a n d : T h e N e x t K o m o r i S o l u t i o n

株式会社 小森コーポレーション 本 社 〒130-8666 東京都墨田区吾妻橋 3-11-1 TEL.03-5608-7806
東北営業所 〒984-0822 仙台市若林区かすみ町 8-54 TEL.022-282-8851 www.komori.com



— 地域の皆様と共に歩んで380年 —
時代のニーズにお応えして

“今日と明日を結ぶ、”

事務用品
O A 機器
オフィス家具
和 洋 紙

KIZYA
木津屋本店

盛岡市南大通 2 丁目 3 番20号
電話 ■ 盛岡019 (638) 4337代表

長代商店は皆様の産業廃棄物の処理に
誠意をもってお手伝い申し上げます。

*現像廃液・定着廃液及び古フィルム、廃油、洗浄液の処理を御用命下さい。

長 代 商 店

〒028-7801 岩手県久慈市侍浜町堀切11-136-5
TEL 0194-58-3833 FAX 0194-58-3057

折込広告

毎日が新しい
コミュニケーション



株式会社 岩手読売IS

本 社：〒020-0836 盛岡市津志田西一丁目23番8号
TEL.019-635-5866 FAX.019-635-5857
県南営業所：〒023-0001 奥州市水沢区卸町4-10
TEL.0197-25-3277 FAX.0197-24-4788

URL <http://www.iyoc.co.jp>

情報文化のパートナー
社会に貢献出来る会社を目指して



代表取締役社長 柴田政夫

〒983-0034 仙台市宮城野区扇町1丁目1-48
TEL022(235)5004(代) FAX(236)9206

良い品を迅速に
お届けいたします

株式会社 佐々木紙店

奥州市水沢区龍ヶ馬場1-1 TEL 0197(24)6566(代表)
FAX 0197(24)6568

パッケージプラザササキ TEL 0197(23)4321(袋町店)

創業 70 周年 **KOBUNDO**

原点、そして未来へ。
70. 80. 90. 100年 >>>



東北支店 〒984-0003 仙台市若林区六丁の目北町4番30号
TEL (022) 287-3711 FAX (022) 287-3710

<http://www.kobundo.co.jp>

SCREEN

Pr!nt the Difference
変わろう。印刷ビジネスのオンリーワンへ。



株式会社 メディアテクノロジー ジャパン

東北営業所 / 022(224)1741 <http://www.mtjn.co.jp/>

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉1-5-15 日本生命仙台勾当台南ビル3階



世界を変えるアイデアは
一枚の紙から生まれる。



本社 盛岡市みたけ二丁目22番50号 ☎019-641-1081
支店 仙台市若林区卸町二丁目12番11号 ☎022-235-4251



電子情報配信サービス

モリサワ

MC Catalog+



あらゆる印刷物をスマートデバイスへ
簡単・効果的に配信

カタログやチラシ、パンフレットなど、あらゆる印刷物をスマートフォンやタブレット端末に向けて手軽に配信できるクラウドサービス。印刷データをそのままアップロードするだけで、読者が見たい情報をタイムリーに届けることができます。

<http://www.morisawa.co.jp>

プレス・プリプレスの関連資材
システム機器のことなら

Total Process Engineering System



株式会社 ヤマトヤ商会

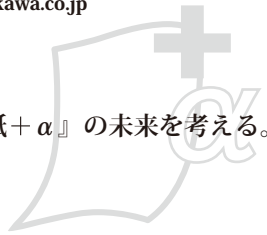
本社：〒105-0001 東京都港区虎ノ門5丁目9番7号
TEL 03-3436-2411 / FAX 03-3434-1257

東北支店：〒983-0842 仙台市宮城野区五輪2丁目12番6号
TEL 022-296-9555 / FAX 022-296-9550

<http://www.yamatoya.com>

<http://www.yoshikawa.co.jp>

『紙+α』の未来を考える。



吉川紙商事株式会社

仙台支店 〒980-0014
仙台市青葉区本町 2-10-28 カメイ仙台グリーンシティ 6階
TEL 022-264-8971 FAX 022-264-8973

FUJIFILM

「環境性能」

環境に優しい商品と情報を提供します

FFGSプリントサプライ株式会社

盛岡営業所 / 〒020-0811 盛岡市川目町23番4号(盛岡中央工業団地)
TEL(019)623-2100(代) FAX(019)623-2150
本社 / 〒950-0134 新潟県新潟市江南区曙町3丁目15番17号
TEL(025)382-2400(代) FAX(025)382-5400

身近な朝の情報
折込広告

ちょっとでも
お得な情報を見つけ、
賢くお買い物計画。



お得な
情報
満載!



岩手日報折込センター
岩手日報アド・ブランチ 株式会社
■本社 / 〒020-0122 盛岡市みたけ1-6-40 TEL019-641-6711 FAX019-641-6154

■県南センター / 〒025-0002 花巻市西宮野目12地割62-9
TEL0198-30-1919 FAX0198-26-3685
■県北営業所 / 〒028-6101 二戸市福岡字中町17
岩手日報へのセンター内 TEL0195-22-1122

株式会社 田澤洋紙店

本店 ■〒020-0816 盛岡市中野二丁目15番8号
TEL019(624)3355(代) FAX019(622)7655
八戸営業所 ■〒031-0071 八戸市沼館一丁目20番9号
TEL0178(45)4561(代) FAX0178(43)7501